

デジタルサイネージにおける災害情報等の 表示画面の標準仕様策定に関する検討会

2019年9月10日
総務省

検討会設置の背景・目的

1

検討会設置の背景

- デジタルサイネージにおける災害情報等の伝達について、Lアラート情報だけではなく、Jアラート等により配信される災害情報等の迅速な伝達や表示が必要。
- 更には近年の訪日外国人旅行客の増加を踏まえた多言語対応、多様な特性を持つデジタルサイネージの設置箇所を踏まえた適切な表示方法等を含めた具体の検討が必要。
- 上記を踏まえ、災害情報等のデジタルサイネージにおける効果的な情報配信に向けた課題を抽出し、標準表示形式を取りまとめる。

目的

- 災害情報等のデジタルサイネージにおける効果的な情報配信に向けた課題を抽出し、関する標準表示形式を取りまとめる。
- 主に想定される論点は、以下のとおり
 - (1) 災害・緊急時情報等の表示形式(対象情報、多言語対応、端末連携等)
 - (2) 情報伝達等に係る運用の在り方(事業者間連携、平常・緊急時切り替え等)
 - (3) 普及・展開方策(ガイドライン化、国際標準との整合等) など

- 今年度中に3回程度の検討会を開催し、標準表示形式を取りまとめる
- 災害情報等のサイネージにおける表示案とともに、情報配信における運用上の課題を並行して検討し、最終的にガイドライン案として取りまとめる

	検討会での主な議題
第1回 (2019年9月上旬予定)	<ul style="list-style-type: none"> • 災害情報等のサイネージ情報発信などに関する事例、既存のガイドライン等の整理 • 標準表示案検討にあたっての論点整理
第2回 (2019年12月上旬予定)	<ul style="list-style-type: none"> • 情報伝達等に係る運用に関わる課題と対応案取りまとめ • 災害関連情報のデジタルサイネージ表示にあたっての課題整理、標準表示形式としての対応案取りまとめ
第3回 (2020年2月下旬～3月上旬予定)	<ul style="list-style-type: none"> • 情報伝達等に係る運用案の検討 • 災害関連情報のデジタルサイネージへの標準表示形式のガイドライン案取りまとめ

検討会構成員(敬称略、五十音順)

- 佐村 智幸 一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム 理事
パナソニック システムソリューションズジャパン(株)
サービスインテグレーション本部 コンテンツ・メディアサービス部 部長
- 神保 成章 一般社団法人日本パブリックビューイング協会 専務理事
(株)Oval Jr. 代表取締役
- 永井 学 一般社団法人パブリックビューイング協会 理事
(株)パス・コミュニケーションズ 取締役 執行役員
- 武藤 聖 一般財団法人マルチメディア振興センタープロジェクト企画部長
- 山本 孝 一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム 理事
(株)ジェイアール東日本企画交通媒体本部 デジタルサイネージ推進センター長

【関係省庁・オブザーバ】 総務省、消防庁、国土交通省、観光庁、気象庁

【事務局】 (株)野村総合研究所(請負事業者)